

解析結果のVR(立体視)による検証

ジースペース エイブイエス ツウ ジースペース

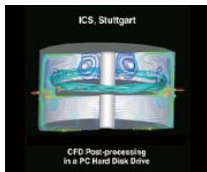
VRディスプレイ『zSpace^(*)』, AVS to zSpace

お客様のメリット

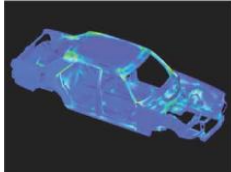
- 立体視による解析検証により、検証時間の短縮
- 立体視により、今まで気付かなかった事象、現象の再発見をサポート
- 様々なデータへの対応により、各種解析データを立体視可能
- ヘッドトラッキング機能により、自然な人の動き、目線で検証が可能

AVS to zSpaceについて(概要)

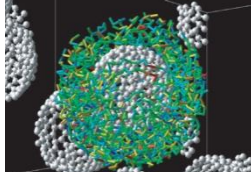
AVS/Express^(*) 本来の機能を有しつつ、zSpaceの立体視機能を完全サポートし、スタイラスによる3次元の操作が可能になっています。AVS/Expressのアニメーション機能、パラメータ変更結果をリアルタイムで3次元立体視画面に表示することで、解析データを覗き込んだり、内部に入り込んだ感覚で検証することが可能になります。



ハードディスク装置内部の流れの可視化



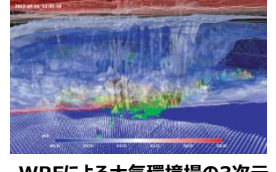
自動車の応力分布の可視化



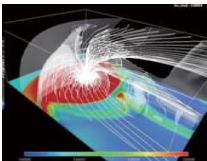
ファイラー充填ゴムの可視化
(提供：防衛大学 萩田 様)



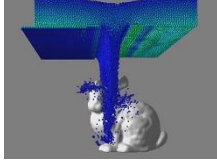
CTスキャンによる人体モデルのボリュームレンダリング表示



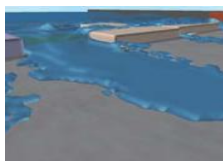
WRFによる大気環境場の3次元シミュレーション可視化
(茨城・栃木の竜巻事例)
(提供：日本気象株式会社 応用気象グループ 櫻井 様)



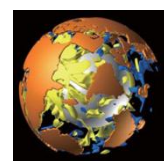
大規模惑星磁気圏シミュレーションと可視化 (提供：九州大学 情報基盤研究開発センター 深沢 様)



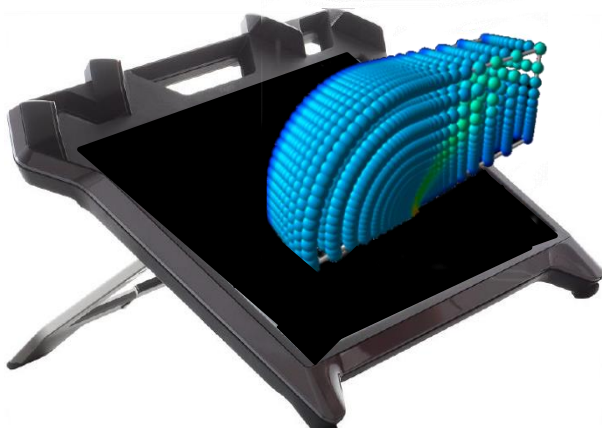
スタンフォードバニーに水を流した問題 (九州大学大学院工学研究院 社会基盤部門 浅井 光輝 様)



津波浸水シミュレーション (提供：五洋建設株式会社 技術研究所 様)



超大陸パンゲアの分裂とインド大陸の北上 (提供：海洋開発研究機構 古田 様)



様々な解析データの読み込みに対応

解析・実験/計測： AVS Field(構造格子)★、CGNS、HDF5、netCDF、AVS UCD(非構造格子)★、Plot3D、DICOM、カラムファイル、VTK、連番画像のボリュームデータなど
画像： JPEG、GIF、TIFF、BMP、PNG、AVS Image★、PBM、SGI Image、SUN Raster
形状： AVS Geometry★、MicroAVS Geometry★、GFA(Geometry Flipbook Animation)★、VRML、STL(SLA)、DSF、MD2
化学： PDB、Gaussian Cube/Log、LAMMPS、VASP、VASP MD、TOMBO、TOMBO MD
地図： 国土地理院標高データ、USCS、DEM、CIA World Data Bank II
気象： WRF、Viz5D、CrADS

★:AVS独自フォーマット

お問合せ先 **株式会社IDI** (<http://www.i-d-i.co.jp>)**070-6974-5966**
(fukui@i-d-i.co.jp)

(*)1: zSpace®は、米国zSpace, Inc.の米国および日本における登録商標または商標です。
(*)2: AVS/Express®は、サイバネットシステム社の登録商標または商標です。
出展画像、内容は、サイバネットシステム社のホームページより抜粋。